

地域活動団体（母親クラブ）市町村協議会設置促進事業について

1. 「母親クラブ」とは

子どもの健全育成を願い、児童関連の福祉施設を拠点として地域ぐるみでボランティア活動を行う組織。会員は小さな子どもを持つ母親に限らず関心のある人々が集まり地域ぐるみで活動するもの。

2. 魚津市での母親クラブの状況

魚津市では、平成 10 年には、クラブ数として 10 前後の母親クラブがあったが、現在母親クラブの登録はない。直近の状況では、経田母親クラブ（経田幼稚園拠点 H26.3.31 閉園）が H24 年度末に解散、大町母親クラブ（大町幼稚園拠点）が 25 年度末に解散し、現在に至っている。解散後、大町母親クラブは幼稚園の父母会としての活動のみを行っている。当時母親クラブとして活動していると市から補助金がもらえるというメリットもあったが、25 年度を最後に廃止された。近年は少子化による会員数の減少や、その他クラブとしての活動が負担になるなどの理由でこのような状況となっている。

活動が負担である理由

- ・ 県の連合会に加盟することによる役員選出や行事参加（動員）への負担
- ・ 児童の習い事、スポ少への送り迎え、児童クラブとの活動の重複による負担
- ・ 子どもだけの参加活動でなく地域での活動を求められる

3. 富山県から受託した事業内容

児童の健全な育成発達を目的として、各地域では母親クラブの単位クラブが、市町村単位では母親クラブ連絡協議会の組織が設立され、これまで親子や世代間の交流・文化活動や遊び場や遊具の点検活動を行い地域における子どもの健全育成を見守る役割を果たしてきていた。しかし、近年単位クラブ数や会員数が大幅に減少しており、それに伴い県連合会に加入する市町村組織も減少している。県の調査でも身近で利用したいサービスとして「子育て中の親が集うサークル」をあげる人も多かった。そこで、コーディネーターを委嘱し、コーディネーターが各地域に出向き母親クラブの活動内容を紹介し単位クラブの結成の働きかけをするもの。

4. 事業活動報告

今年度、コーディネーターを委嘱し、コーディネーターに市内の各保育園・認定こども園・幼稚園を訪問し、それぞれの保護者会等の活動について聞き取りを行う。

訪問日時	園名	内 容
H30.5.11	大町 幼稚園	現在、園児数は 28 名 世帯数は 26 世帯。全父母が会員で会長は父親から 1 名、副会長は母親から 3 名おいており、園の行事や活動に沿った援助・補助を主に「父母会」として活動をしている。子どもの健やかな成長と、よりよい幼児教育をめざししていくための園と保護者の連携は不可欠で意

		義があると母親クラブとしての活動をすすめてきた。しかし、少子化や女性の働き方の変化により0・1歳時から預けられる保育園への需要が多く、園児が減少していることもあり、保護者に対して活動の負担が多くなることを避けるため、母親クラブとしての活動をやめ、現在の父母会というかたちに至っている。
H30.5.15	道下 保育園	現在、園児数は78名、68世帯だが、年度内11名増の見込み。「保護者会」と位置づけて活動しており、会費を集め、会の活動費の他、行事の景品等子どもたちに還元している。会長・副会長他書記・会計をおき、会則をもとに組織化しており、年度替わりの次年度の引継ぎもスムーズである。活動は園行事に合わせて、職員の援助や補助的な役割を果たしており、園としてもおおいにたすかっている。
H30.5.22	青島 保育園	現在、園児数は79名、「保護者会」と位置づけて活動している。会としての活動は少なく、運動会とお楽しみ会の補助・援助程度とのこと。今年度の会長の職業が保育士ということもあって、園運営や内情に詳しく、会費用途や配分が改善された。会の運営等も園と連携してすすめているので関係性は良好である。
H30.5.29	経田 保育園	現在、園児数は67名、「保護者会」と位置づけて活動している。会長選出はくじ引き、じゃんけんで決めているが、保護者の関係性良好で園行事に沿った活動になっており協力的である。会費を集め、運動会やクリスマス会の景品、卒園式の記念品を購入している。
H30.5.30	住吉 保育園	現在、園児数は29名、「保護者会」と位置づけて活動している。主な活動は夏祭りと運動会。運動会は園の補助的活動であるが、夏祭りは保護者会から毎年出し物を2つ出しており、企画・運営をしている。園児が減少しており、ほとんどの保護者がフルタイム勤務ということもありある程度の負担はあるが、今年度は会長が昨年度より続けて引き受けてくれたことで、取られる時間（役員会・景品購入他）等も合理的にすすめていけているようだ。会の運営等も園と連携してすすめているので関係性は良好である。
H30.6.20	松倉 保育園	現在、園児数は31名、「保護者会」と位置づけて活動している。活動は夏祭り、運動会、文化祭など。会長選出は、現会長と園長が次年度会長を相談のうえ決定し、適任者をお願いしているため園行事援助等には協力的でスムーズにすすめられている。小規模園であること、地域の同居世帯率が他に比べて高いこと、親同士は仲がよいことなどから全般的に、協力的である。
H30.10.18	片貝 保育園	現在、園児数は21名、「保護者会」と位置づけて活動している。活動は夏祭、運動会、祖父母の集い、クリスマス会、公民館活動など。会費を園児数減少に伴い上げたことにより園行事や地域活動に沿った経費支出と活動内容となっている。夏祭りで披露される出し物は工夫を凝らしてあり子どもたちや地域の方たちを楽しませている。2年前の小学校閉校につき、地

		域から保育園は大切にされていて、園や保護者会も公民館活動に協力している。子どもたちの父は大半地元出身であり、外から嫁いできた母も地域や保育園に柔軟に対応されている。
H30.7.4	野方 保育園	現在、園児数は42名、「保護者会」と位置づけて活動している。活動は夏祭り、運動など。会長選出は年長・年中児保護者から出しており、適材適所・PC操作得意などで書記を決める等している。多くの保護者は代々地元に住んでおり、地区行事に関わっていることもあり、上野方小学校が閉校になったことにより、園へ地元行事参加依頼が増えていて多少負担が増えてきている。しかし子供たちを見守りかわいがっていただいているので断れなく、できるだけ協力していきたい。これらの行事への送り迎え等の保護者の負担も最小限にしたいと考えている。
H30.10.18	西布施 保育園	現在、園児数は12名、「保護者会」と位置づけて活動している。現在年長児はいなく、未満児クラスとそれ以上児クラスの2クラスで全12名。保護者家庭12軒から4名の役員出すことが厳しく、H30度は、副会長なくして、会長・会計・書記3名のみ。行事になると、役員に限らず、夫婦で園に協力していただいております、公立園で唯一廃品回収を実施している園でもある。廃品を自力で出せない高齢者が多く住人の助けが必要である地域であることと、収益を考慮するとやめられず以前から続けてきたということである。夏まつりも収益を出しており、園の環境設備にも還元してもらっている。保護者会だけでなく、地域全体が園を支援し、園も地域行事に参加するなど地域へ貢献している。
H30.11.5	上口 保育園	現在、園児数は116名、「保護者会」と位置づけて活動している。保護者会活動は、主に納涼会と運動会で、会費を集め、それぞれの景品や卒園式の記念品に使っている。役員11名のみで園行事への補助をお願いしている。今後も、保護者会にはできるだけ負担をかけない方針でいきたいと考えている。
H30.11.6	認定こども園 川原 保育園	現在、園児数は60名、「保護者会」と位置づけて活動している。活動は夏バザー、親子活動などが主で、役員会が中心になってワークショップ、クッキング、体験教室などを行い、親子で楽しめるものを企画している。会費を集め、運動会やクリスマス会の景品、卒園式の記念品を購入している。行事の開催については土曜午後～夕方が多く、親子活動は年に2～3回と精力的に活動している。
H30.11.7	魚津第 二保 育園	現在、園児数は174名、「保護者会」と位置づけて活動している。会費を集め、園児の日本スポーツ振興会費、卒園式の記念品などに使っている。活動は納涼祭が中心で、7月開催にむけて企画や準備を役員会中心にすすめていく。役員決めは話し合いで決めるが、子育てが楽しくできるように他と関わりの少ない母親を園から推薦することもある。規模が大きい園であるが、保護者の対話を大切にしていきたいと考えている。

H30.11.7	かづみ 認定こ ども園	現在、園児数は180名、「かづみの会」称して活動している。活動の中心である納涼祭や運動会は園とともにすすめるが、研修会、チャリティーバザーは保護者会主催で、企画からすべて保護者がすすめていく。役員会の開催も多く精力的に活動している。会費を集め、運動会やクリスマス会の景品、卒園式の記念品を購入している。
H30.11.9	幼保連携 型認定こ ども園ほ んごうこ ども園	現在、園児数は155名、「保護者会」と位置づけて活動している。活動は園行事に関わって夏まつりと運動会など。夏まつりは夜店を担当してもらって収益も出している。保護者会への負担軽くという思いではいるが、役員会は年4回、おもに平日園内で開かれている。役員数は22名と多い。会費を集め、運動会やクリスマス会の景品、卒園式の記念品を購入している。
H30.11.9	認定こど も園吉島 保育園	現在、園児数は155名、「保護者会」と位置づけて活動している。活動は園行事に関わってバザー、運動会などで、バザーは収益も出している。園としては保護者会の活動について負担は軽くという思いではあるが、役員会は年数回おもに平日園内1時間～2時間開かれており、意欲的な活動をしていただいております。10年前、会からの要望で「母の会」から「保護者会」に名前を変更した。父親や祖父母の参加が増えてきていること、また父親が会長の年もあるためである。会費を集め、運動会やクリスマス会の景品、卒園式の記念品を購入している。
H30.11.13	幼保連携 型認定こ ども園天 神保育園	現在、園児数は82名。保護者会を「コンチェルトの会」と称して活動している。活動は園行事に関わって、運動会、ガレージセール、夏祭りなどを行っている。保護者会役員は、執行部5名ほか全15名で運営しており、定期的に園内で役員会を開催している。役員はもちろん、役員以外の保護者も園に協力的で、行事になると精力的に協力してくれている。会費を集め、運動会やクリスマス会の景品、卒園式の記念品などを購入している。

(まとめ)

- ・子どもが少なくなっていることや、保護者が忙しいこともあり、保護者会としての活動が縮小されてきている。
- ・保護者になるべく負担をかけないように配慮している保育園が多い。
- ・小規模な園では、保護者が協力的でまとまりがあり、比較的地域とのつながりが大きい。

5. 今後の予定

- ・母親クラブの紹介 資料の配布など
- ・子育てサークルがあれば知らせていただき、クラブの結成に向け働きかけを行い検討してもらう。